

- 1 単元名 文章を読み比べて、筆者の工夫について考えよう
「テクノロジーとの付き合い方」、「テクノロジーと人間らしさ」

2 目標

- テクノロジーに関する話題に関心を持ち、文章を進んで読み比べようとする。
(国語への関心・意欲・態度)
- 二つの説明的な文章を読み比べ、構成や展開、表現の仕方の違いに気付き、説得力を高めるための効果について評価しながら読むことができる。
(読むこと)
- 文章中に使われている語句についての理解を深め、語彙を豊かにすることができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3 指導に当たって

(1) 生徒観

本学級の生徒に対して、「中学生に携帯電話を持たせるべきではない」という内容の二つの意見文を比較し、「どちらの文章に説得力があるか選び、その理由を書きなさい。」という実態調査(平成24年6月27日実施、第3学年3組32人)を行った。その結果、説得力があると思う文章を選んだ理由として、「具体例を挙げて結論を導き出しているから。」のように構成や展開、表現の仕方について評価した生徒は12人であった。しかし、「自分も似た経験をしたから。」のように感想にとどまっていた生徒が15人、無答が5人であった。これらのことから、文章の内容を自分の体験や知識と結びつけて感想をもつことはできても、構成や展開、表現の仕方について着目して文章を読むことには課題があり、その構成や展開、表現の仕方について、自分の立場から判断しながら読むことができるようにする指導が必要であると考えられる。

(2) 教材観

本学習教材「テクノロジーとの付き合い方」、「テクノロジーと人間らしさ」はどちらも、人間はテクノロジーとどのように関わるべきかという話題で書かれた説明的な文章である。「テクノロジーとの付き合い方」は、「ヒト」と「人間」などの対になる概念を表す言葉を多用しながら、テクノロジーとは慎重に付き合うべきだと論述している。一方、「テクノロジーと人間らしさ」は、テクノロジーへの批判に対して根拠を示しながら反論し、主張へとつなげる書き方で、人間はテクノロジーによって変容する存在であることを自覚して、冷静に対処していくことを提案している。同じ話題について、異なる立場の筆者が書いた文章を比較しながら読むことで、説明の工夫や説得の方法、読み手を引きつける書き方などの筆者の工夫に気付くことができるであろう。

(3) 指導観

本単元では、「文章を読み比べて筆者の工夫について考えよう」という言語活動を行う。そのために、まず、二つの説明的な文章を読み、題名や主張から問題提起文を考え、それぞれの文章で取り上げている話題と筆者の意図を捉えることができるようにする。次に、主張とそれを裏付ける根拠を整理し、筆者の論理の展開を比較することができるようにする。最後に、グループディスカッションを行い、二つの文章のどちらの書き方に説得力があるか、自分の立場から判断できるようにする。このような活動を通して、説明的な文章の構成や展開、表現の仕方について評価しながら読む能力が育つであろう。

4 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	エ 読む能力	オ 言語についての知識・理解・技能
・テクノロジーに関する話題に関心を持ち、文章を進んで読み比べようとしている。	・二つの説明的な文章を読み比べ、構成や展開、表現の仕方の違いに気付き、説得力を高めるための効果について評価しながら読んでいる。	・文章中に使われている語句についての理解を深め、語彙を豊かにしている。

5 第2次5時の展開

(1) 目標

- 論理の展開や表現の仕方について説得力があると考え理由を話し合うことを通して、どちらの書き方に説得力があるか、自分の立場から判断し、考えをまとめることができる。

(2) 準備・資料

- 話合いで使う模造紙 付箋 ワークシート 評価の観点の表・話合いの進め方(掲示用)

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>グループディスカッションをしよう。 テーマ A テクノロジーとの付き合い方 B テクノロジーと人間らしさ A, B どちらにより説得力があるだろうか。</p> </div> <p>2 グループディスカッションの進め方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3ラウンド行う。 ・ ラウンドごとに席替えをする。 ・ グループで意見を確認する。 <p>3 グループディスカッションをする。</p> <p>(1) ラウンド1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が選んだ文章の説得力があると考え理由。 ・ もう一方の文章の説得力がないと考える理由。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最後の段落で言い切っていて、主張が分かりやすいからAの方が説得力がある。 ・ Aには文末表現にあいまいなところがある。だからAは説得力に欠ける。 </div> <p>(2) ラウンド2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ラウンド1と同じテーマで、相手を変えてディスカッションをする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分と異なる立場の意見に丁寧に反論しているからBの方が説得力がある。 ・ Bは筆者がはっきりとした主張を述べていない。だからBは説得力に欠ける。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ ラウンド1, 2で話し合った結果からどちらの文章の書き方に説得力があるか、自分の立場を決める。 <p>(3) ラウンド3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告(相手の主張) (反論された点) ・ 自分の考えの発表 ・ 自分の考えを文章にまとめる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私の結論はAである。なぜなら、具体的な例を多く取り上げ、学者の意見も引用して説得力を増す書き方をしているからだ。 </div> <p>4 本時の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話合いの中で参考になった意見を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4人のグループを作り、3回のディスカッションを通して、二つの文章のどちらの書き方に説得力があるかについて考えていくことを伝える。 ○ 二つの文章の論理の展開を可視化したシートと教材文を貼った模造紙を用意し、付箋を貼ったり意見を書き込んだりして話合いができるようにする。 ○ ラウンドごとにグループのメンバーを替えていくことで、情報を共有し、より広い観点から考えを整理できるようにする。 ○ 話し合うための観点を表にして提示し、文章の論理の展開や表現の仕方について話し合っているようにする。 ○ 意見を書いた付箋を模造紙に貼りながら意見を述べたり、記録者が発言を模造紙に記入したりして、話合いを確認しながら意見の交流ができるようにする。 ○ まず始めは順番に全員が自分の意見を言い、その後で質問し合うようにする。 ○ なかなか意見が言えない生徒は、前時までの活動で用いたノートやワークシートの記述を参考にして発言するように助言する。 ○ メンバーを変えて2回目のディスカッションを行うことで、自分の考えを広げることができるようにする。 ○ 最初に各自がラウンド1の内容を報告し合うことで、それぞれの文章の説得力があると思う理由を整理できるようにする。 ○ ラウンド1, 2を振り返ることで、どちらの文章の書き方に説得力があるかについて自分の考えをワークシートにまとめるようにする。 ○ 自分の考えを発表し合い、グループ内で共有できるようにする。 ○ 話合いを通して新たに気付いたことは、書き加えてもいいことを伝え、自分の考えをワークシートにまとめるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>二つの文章のどちらの書き方に説得力があるか、自分の立場から判断し、考えをまとめている。 (読 観察・ワークシート)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 構成や展開について判断している生徒と、表現の仕方について判断している生徒を意図的に指名し、他の生徒が自分の考えをまとめる手がかりとする。